



▲国道42号にある応急給水支援設備での訓練の様子



▲小雨の中でしたが、47名が訓練に参加しました

地域の話題

和地校区

地域でできる災害時の対応

巨大地震を想定し、応急給水活動を

「共助」で行う地震防災訓練を行った

和地校区「コミュニティ協議会からお便りが届きました。



断水被害に備えて

東日本大震災では、広域的な断水被害報道を目の当たりにしました。人が生きていく上で、水は欠かせません。和地校区では、地域ぐるみで防災強化に取り組んでおり、今回は南海トラフにおける巨大地震の発生を想定した断水被害に備える訓練に参加しました。

地域・企業で助け合う「共助」

9月3日（木）午後、和地町の田集落センターにおいて、愛知県企業庁、田原市、田原市上下水道工業協同組合、愛知水道協会、和地校区（和地・一色・土田各自治会と老人会など）が共同で、応急給水訓練を行いました。

県や市の職員により、国道42号に



んだ手順もファイルできるように検討しています。

和を持った地区

和地校区は、自分の身は自分で守る「自助」、地域・企業で助け合う「共助」、公的機関による「公助」の連携の中で災害対応力の強化に努めています。どんな事態が起こっても地域のみんなで協力し、和をもって対応できる連携力の強い校区です。今後も「ここにいれば安心」「ここに住み続けたい」と思える地域づくりをさらに目指していきたいと思えます。

防災ファイルの利用

和地校区では、校区全域の地震・津波避難マップや避難所生活の心得、災害に対する備えなどの資料を入れた防災ファイルを全世帯に配布しています。今回の訓練で学



●給水車からの給水